

耐ヒートサイクル性・耐熱性・耐湿性 耐低温衝撃性

粘着剤付化粧フィルム

REATEC

リアテック技術資料

試験方法

■耐ヒートサイクル性

アルミニウム板にリアテックを貼り付け、 $-30^{\circ}\text{C}\times 12$ 時間 $\rightarrow 65^{\circ}\text{C}\times 12$ 時間を1サイクルとし、合計12サイクル実施後の剥離や外観変化、変色の有無を確認する。

■耐熱性

アルミニウム板にリアテックを貼り付け、 65°C で28日間放置後、剥離などの有無を確認する。

■耐湿性

アルミニウム板にリアテックを貼り付け、 $40^{\circ}\text{C}\cdot$ 湿度90%に28日間放置後、剥離などの有無を確認する。

基準・結果

剥離などの異常なし。

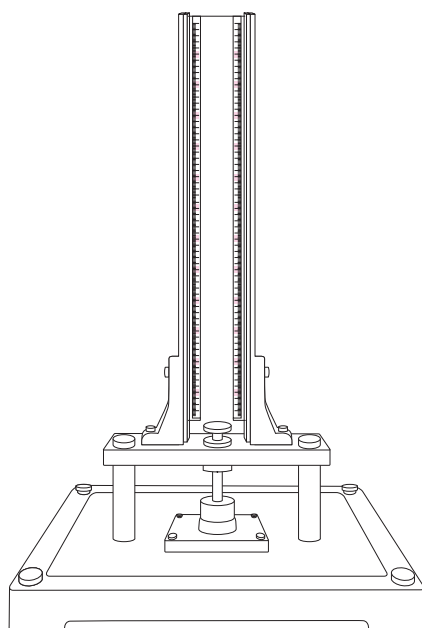
試験方法

■耐低温衝撃性

1.0mm厚のアルミニウム板にリアテックを貼り付け、デュポン衝撃試験機を使用し、 0°C の環境下で1/2インチ径を用い、100gの荷重を100mmの高さから落下させる。

基準・結果

フィルムの割れ発生なし。



デュポン衝撃試験機

※上記写真は代表品番による当社評価試験結果であり、製品の性能保証ではありません。